

# 分子歯周組織再生学特論

Advanced Course of Regeneration Molecular Biology in Periodontal Tissues

## キーワード

- ① 骨芽細胞
- ② セメント芽細胞
- ③ 歯肉線維芽細胞
- ④ サイトカイン
- ⑤ 再生医療

## 授業概要

近年、歯周組織再生研究は注目されている分野の一つである。日本ではエムトジンゲル<sup>®</sup>、欧米においてはBMP-2やPDGF-bbなどの薬剤が歯周組織再生療法を誘導する薬剤として用いられている。そこで、歯周組織を構成する硬組織（セメント質・歯槽）と軟組織（歯肉結合組織や歯根膜）を再生させる薬剤の細胞への作用・特徴を歯周組織再生機序など交えて講義し理解を深めることを目的として開講する。

## 授業科目の学修目標

本特論を通して歯周組織についての知識を身につけ、それに伴い歯周組織再生について討論を行い、分子細胞学的な立場から論理的に理解・解釈出来ることを目的として開講する。

## 授業計画

- ① 歯周組織について
  - ・概念について 5コマ 槻木恵一
  - ・組織発生・破壊に関与するサイトカイン・細胞 5コマ 槻木恵一
- ② 口腔分子細胞研究論
  - ・骨芽細胞の機能・分化に関与するサイトカイン 5コマ 槻木恵一
  - ・セメント芽細胞の機能・分化に関与するサイトカイン 5コマ 槻木恵一
  - ・歯肉線維芽細胞の機能・分化に関与するサイトカイン 5コマ 槻木恵一
  - ・歯根膜線維芽細胞の機能・分化に関与するサイトカイン 5コマ 槻木恵一

## 教科書および参考書

・ハーパー生化学 監修 上代 淑人 ・スタンダード 生化学・口腔生化学 執筆 合田征司 他

## 履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

授業項目と関連する論文を熟読し、十分な理解が求められる。

## 大学院生が達成すべき行動目標

- ① 講義の意義を理解し基本を説明でき、歯周組織再生における概念を理解し応用することができる。
- ② 講義を理解し、その内容について十分な討論が実践ができる。

## 評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	40%	0%	0%	20%	0%

## 評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回40%
- ・レポートは、授業のまとめについて課題を提出する。1回40%
- ・口頭試問は全体の達成度で判定する。1回20%

## 理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。